

広報

あさひまち 11

ASAHI-MACHI

平成19年
(2007年)
11月号
No. 541

小春日和の穏やかな日に

(杉山 安藤俊一さん方で)

食生活を見直してみよう



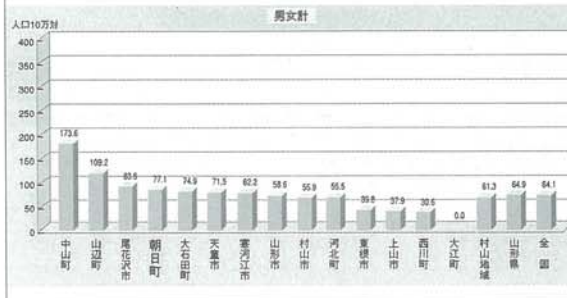
悪性新生物 (40歳~69歳)



脳血管疾患 (40歳~69歳)



心疾患 (40歳~69歳)



はじめに、ちよつとシヨッキングなデータを紹介します。このグラフは、村山保健所管内の平成十一年の四十歳から六十九歳までの三大死因死亡率を表したものです。残念なことに、わが町は、悪性新生物(がん)、心疾患(心臓病)、脳血管疾患(脳卒中)いずれも上位にランクされています。

**壮年期の三大死因死亡率
わが町は上位にランク**

実りの秋、食欲の秋。食へ物がおいしい季節を迎えています。今月は、毎日の生活に欠かせない「食」と「健康」について考え、てみることにしましょう。

食生活を見直してみよう

生活習慣の乱れが病気を引き起こす原因の一つ

病気の原因は、人によって異なり、一概には言えませんが、ふだんの生活習慣の乱れが、大きくかかわっていると言われて

います。がん、脳卒中、心臓病、糖尿病、高血圧症、高脂血症など、かつて成人病とされていた疾患は、今では「生活習慣病」と呼ばれるようになってい

ます。これらの病気に、毎日の生活習慣が深くかかわっていることが分かったからです。生活習慣病は、長年の生活態度の積み重ねで起きるもので、そのため、自覚症状が少なく、ジワジワと進行していき

食生活を「見直してみよう」

ます。予防するには、健康的な生活習慣を自分で確立することが基本です。食生活、運動、休養、喫煙、飲酒…。あなたの生活習慣は大丈夫ですか？

し、病気の原因にもなります。現在、町では、健康と食生活について学ぶ各種事業を展開しています。

食生活改善推進協議会の活動

昭和三十八年に発足したこの会は、健康についての講演会や調理実習を行い自己学習に努めています。会員の多くは、地区で行っているデイサービスなどのボランティア活動にも積極的に参加しており、会で学んだことを地域の中へと伝達しています。また、食生活改善推進員の養成講座として「ヘルシー講座」も開催しており、現在十二人が受講しています。



伊藤キエ子さん (大町)

朝日町食生活改善推進協議会長の伊藤キエ子さん(大町)に話を聞いてみました。

「食改で学んだことは、必ず家で実践するようにしています。ふだんから『塩分や油をあまり使わなくてもおいしく食べられるにはどうすればよいか』などと考えながら楽しく食事を作るようにしています。」

現在会員は五十六人いますが、年配者が多く、もっと若い方も参加してもらいたいと思っ



「食」について楽しく学ぼう (ヘルシー講座)

高脂血症改善教室

また、今年度から高脂血症改善の個別教室も行っています。

現在、三十代から六十代までの男女五人の方が取り組んでおり、保健婦や管理栄養士のアドバイザーを受けながら一カ月ごとに目標を立てて努力しています。

受講者の一人、長岡信之さん(太郎二)は、「四十代半ばに入

り、自分自身の健康について気になり始め、この教室を受けることにしました。今、運動と食生活の改善にがんばっています。特に、食生活の面では、妻にも協力してもらっています。一般的に「食事は妻まかせ」という男性が多いと思いますが、もっと男性も自分の食生活に関心を持つべきだと感じています。」



長岡 信之さん (太郎二)

ほかにも各種健康教室の中で健康と食生活について取り上げられています。これらの事業をさらに推進していくために、今年度管理栄養士を一名増員し、健康福祉課へ配属しました。町では、町民のみなさんの食事面における健康づくりを強化し、支援していきたいと考えています。



健康と福祉のついでで紹介された 麩を使ったヘルシーメニュー

特集 ● 「食」と「健康」

食生活を見直してみよう



(さゆり保育園)



食事の時間は楽しく (朝日中学校)

子どもたちも食生活習慣を改善？

今年六月、朝日中学生を対象に「食に関するアンケート調査」が行われました。これは、PTA母親委員会が全校生とその保護者を対象に実施しまとめたものです。同委員会ではこのほか、給食センターを視察したり、実際に給食を食べてみたりといった活動も行っています。

さて、アンケートの結果をみてみると「毎日朝食を食べる」と答えた生徒が八三%、「毎日朝食を食べない」とときどき食べな

い」と答えた生徒は、一七%います。

また、家庭料理で好きなおかずを尋ねたところ「何もない」と答えた生徒が三十人もいました。「家の料理は最高!」と思っ



園部かほ子先生
(朝日中学校)

朝日中学校の養護教諭、園部かほ子先生は「朝食を抜くと一日の栄養摂取量も当然減り、栄養の不足などによって、『覇気がない』『集中力がない』『イライラする』『貧血になる』など、心と体の変化が起きてきます。具合が悪くて保健室にくる生徒の多くが、朝食を食べないできたと答えます。

今、『食生活の乱れ』と『キレイな子ども』の関係がとても注目されてきています。中学は心も体も成長する時期であり、一日

三食バランスのよい食事、主食(ごはん)・主菜(メインのおかず)・副菜(その他のおかず)をきちんとすることが大切です」と話しています。



保利 修子さん
(大谷六)

また、朝日中学校PTA母親委員会委員長の保利修子さん(大谷六)は、「私もそうですが、今のお母さん方は毎日忙しく働いており、食事に時間をかける余裕がないと思います。でも、そのような世の中だからこそ、食事の時間を大切にしなければならぬと思います。子どもといつしよに野菜を育てたり、料理することで、子どもは食べ物のありがたさが分かり、親子のコミュニケーションも図られます。添加物の入ったインスタント食品をできるだけ減らして、手づくり料理に含まれる愛情を子どもたちに与えていきたいものです」と語っています。

中学生のデータを紹介しましたが、子どもたち全般に同じことが言えると思います。「生活習慣病予備軍を作っ

いると言っても過言ではない子どもたちの食生活。高カロリーで動物性脂肪が多い肉類が中心で、緑黄色野菜や魚、海藻類、豆類、牛乳などの摂取が少なくなっていきます。健診の際『うちの子は、好き嫌いなく何でもよく食べますよ』という声が聞かれますが、食事の内容をよく聞いてみるとカレーやハンバーグ、スパゲティなどが主で、子どもたちが嫌う野菜や煮物などはあまり食卓に出されていないようです。「好きなものだけを何でも残さず食べる」というのは立派な偏食で、好ましいことではないですね」と、健康福祉課の村山智美管理栄養士。



村山 智美
管理栄養士
(健康福祉課)

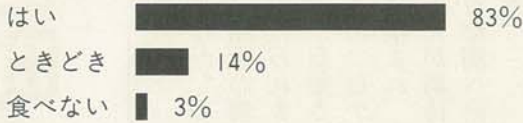
子どもたちの成長を考え、栄養バランスの取れた食事を与えることは私たち大人の責任です。現在の食生活が、十年、二十年先の健康状態を左右するといわれています。小さいうちから健康と食事の関係や、食の大切さなどを教えていくことも非常に大切なことではないでしょうか。

中学生の食に関するアンケート結果から

資料提供：朝日中PTA母親委員会

●生徒回答分

朝食は毎日食べますか



朝食を食べられない原因として夜型の生活があげられる。子どもたちは、朝起きて家を出るまでにどの位の時間の余裕があるのだろうか。

給食で好きなメニューは何ですか

ハンバーグ、焼き肉、鶏肉のマヨネーズ焼き、エビフライ、カレー

給食で嫌いなメニューは何ですか

海藻サラダ、からしあえ、ヘルシーサラダ、トマト、酢物、魚類、納豆汁

給食で残すもので一番多いものは何ですか

おひたし、魚、果物、酢物、トマト、ご飯、煮物、サラダ類、和え物

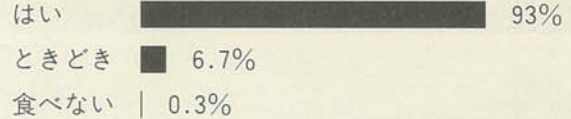
嫌いなメニュー、残すもの、どちらも野菜類が多い。給食でも家庭でも、旬の野菜を使い、おいしく食べられる工夫が必要のようだ。

あなたの家庭料理で好きなおかずは何ですか

カレーライス、焼き肉、肉じゃが、ハンバーグ、ロールキャベツ、フライもの、きんぴらごぼう、お好み焼き、おでん、鮭のホイル蒸し、シチュー、焼きそば、ラーメン、かに玉、焼き魚
 「好きなおかず何もない」…30人

●保護者回答分

あなたの子どもさんは毎朝朝食を食べていますか



子どもの回答と保護者の回答に差がある。親は実際に子どもが食べているところを見ていないのではないか。食べていると思いついでいるのではないか。

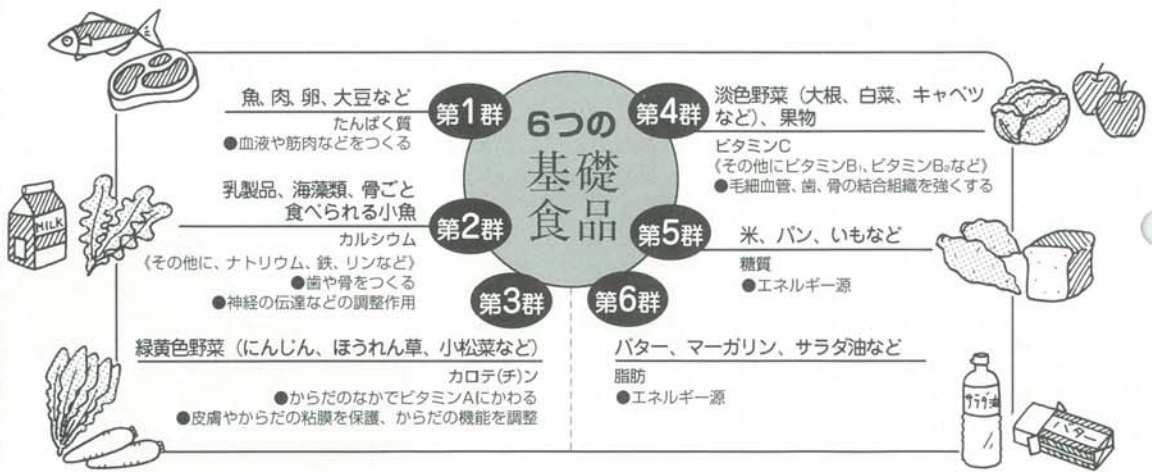
給食に関心がありますか



関心がないと答えた保護者が20%もいたのは意外。学校からのたよりや給食の献立表にも目を通すようにしたい。

いろいろ食べて生活習慣病予防 ●主食、主菜、副菜をそろえ、バランスのよい食事を ●いろいろ食べても、食べ過ぎないように

体に必要な栄養素をまんべんなくとるようにしましょう。6つの基礎食品の各群から1品目以上の食品を選び、毎食きちんと、主食、主菜、副菜をそろえると、食材の種類が増え、自然に必要な栄養素をバランスよくとることができます。ただし、いろいろな食品を適量とすることは大切ですが、エネルギーの過剰摂取にならないように気をつけましょう。



食生活の乱れが、生活習慣病を引き起こす一要因であることは間違いありません。そして、その影響は、中高年だけではなく、若年層にも波及しています。健康で楽しい毎日を過ごすために、もう一度食生活を見直してみよう。

自分で料理を作らなくても、一日三食を不自由なく食べられる時代になりました。好きな時間に、好きなものを、好きな量だけ食べられる、数十年前には想像もつかなかった時代です。しかし、このような現象は私たちの体にとってよいことばかりではありません。何を選んで、いつ食べるか、どれくらい食べるか、自由を選ぶのと同時に選び方や食べ方による体への影響も自分で引き受けなければならなくなってきました。

もう一度見直そう 「食」と「健康」

今後、町では、保育園や学校、公民館などと連携を図り、講座等を開講して、町民のみなさんの健康づくりをサポートしていきたいと考えています。

朝日町産「あじびか」初出荷

初値は五キロで五千円

りんご「あじびか」の出荷式が十月十六日、和合の朝日果実流通センターで行われました。テープカット後、収穫されたばかりの五キロづつ二百ケースが大型トラックに積まれ、生産者や関係者約六十人が期待を込めて見送る中、首都圏へ向けて初出荷されました。

あじびかは「つがる」と「ふじ」を交配させたもので、長野

県が原産地。町では、平成八年に生産研究をスタートさせ、苗木の購入補助や栽培マニュアル書の作成、長野県との栽培技術の交換などを行い普及を進めてきました。また、出荷にあたっては、町全体で新品種「あじびか」をPRしていくこうと、販売の一本化が図られ、統一共選による出荷が初めて実現されました。

秋口の天候にも恵まれ、品質

はたいへん良好で、今年度は五キロづつ約二千ケースを出荷。十月十七日に行われた東京の大田市場の初競りでは、最も良いとされる特秀に、五キロ五千円の高値がつけました。市場関係者は、「甘みが強いながらもさっぱりとした食感があり、とてもおいしい。消費者の評判も上々で再注文も多く、増産に努力してほしい」と語り、PRに努めた

清野町長も「市場の反応はよく、今後も大いに期待できる」と、十分な



箱の中にはオリジナルのパフレットが添えられた



関係者が期待を込めてあじびかの初出荷を見送った

手ごたえを感じてきました。上々の滑りだしをしたあじびかは、これからが本場の勝負。今後も町、農協、生産者が手を取り合い、一日も早い銘柄産地確立に向けて努力していきたいものです。



地域づくりの拠点施設が完成

大暮山公民館落成式

大暮山区（阿部喜久三郎区長、三十八戸）の新しい公民館が完成し、十月二十五日に落成式が行われました。

新公民館は木造二階建てで、延べ床面積が百六十平方メートル（約四十八坪）。総事業費は三千四百十四万円で

施設内には、町内の公民館では初めてとなる冷暖房機器が完備されました。また、区民みんなが利用しやすいように、これまで二階にあった大会議室を一階に配置。一階は玄関からすべて段差のない

バリアフリー構造を採用し、高齢者にもやさしいつくりとなっています。落成式には区民や関係者約六十人が出席。阿部区長は「分校が閉校し、年々過疎化も進みますが、この新しい公民館を生涯学習の場として大いに活用し、地域づくりの目標である『あたたかい心で築く地域の輪』を実践していき、地区の活性化を図っていきたい」とあいさつしました。引き続き、盛大な祝賀会が行われ、地区民あげて新公民館の完成を祝いました。

落成式には区民や関係者約六十人が出席。阿部区長は「分校が閉校し、年々過疎化も進みますが、この新しい公民館を生涯学習の場として大いに活用し、地域づくりの目標である『あたたかい心で築く地域の輪』を実践していき、地区の活性化を図っていきたい」とあいさつしました。引き続き、盛大な祝賀会が行われ、地区民あげて新公民館の完成を祝いました。

不法投棄をなくし きれいなまちに

十月二十三日、町衛生組合連合会環境保全大会が開催されました。不法投棄をなくし、美しい生活環境のまちをつくらうと初めて企画されたもので、区長会の一日研修も兼ねて行われました。

はじめに、不法投棄の撲滅、正しいごみの出し方を広報車で呼びかけるとともに、町内十カ所の不法投棄現場で回収作業を実施。一時間で四トントラック一台分のごみを回収しました。この後、創遊館で講演会が行



不法投棄の現場でゴミを回収する衛生組合長さん

われ、講師の村山総合支庁環境課石澤秀悦技術主査が、不法投棄の現状と廃棄物の処理について詳しく説明。「農業用ビニールは田畑で燃やさず、産業廃棄物として処分すること」「家庭用小型焼却炉での焼却は燃焼温度が低く、ダイオキシンの有害物質が発生しやすいので、自家焼却は行わないように」との話に、衛生組合長さんたちは熱心に耳を傾けていました。



よりよい看護をめざして

朝日町立病院の研究事例が全国表彰

全国国保地域医療学会の表彰式が先ごろ行われ、町立病院の児珠はつえ外来主任看護婦が発表した研究事例が「優秀賞」を受賞しました。

この学会は、地域医療関係者の研さんを図ることを目的に、毎年実施されているもので、今回は全国から225の事例が寄せられ、最優秀賞1点と優秀賞5点が表彰されました。

児珠看護婦は、これまで定時に行っていた夜間のおむつ交換を、個人の排泄パターンに合わせたおむつ交換に見直した研究事例を発表。「患者さんの安眠を妨げない、患者さんの立場に立った看護を…との思いから改善に取り組みました。朝日町立病院での成果が全国で認められてうれしい」と喜びを語っていました。小林達院長は「今回の受賞は、看護婦たちが向上心をもって地道に努力してきた結果だと思う。町民のみなさんの期待にそえるよう、今後も職員一同努力していきたい」と話していました。



大規模な災害に備えて

朝日町防災訓練を実施

県内陸部を震源とする大規模な直下型地震発生を想定した町防災訓練が10月28日、太郎地区で開催されました。

あいにくの雨にもかかわらず、地区民や消防団員約300人が参加。ポンプ車による火災防ぎょ訓練や、消火栓と消火器を使った初期消火訓練、子ども会のバケツリレー、応急処置訓練などを行いました。

参加した大高恵美子さん(太郎一)は、「消防団の指導を受けて消火栓を使いましたが、ホースをつなぐ際にちょっと手間取ってしまったので、いざという時には慌てないで対処したいですね」と語っていました。

この日は、県消防防災ヘリコプター「もがみ」による救急搬送訓練も行われ、「もがみは時速324キロで飛び、朝日町から山形市の県立中央病院までは約5分で到着することができます」との説明に、「すごいな～」との声があがっていました。

文化の輪

芸術文化祭



「はばたけ未来へ ひろげよう文化の輪」をテーマとした第三十七回朝日町芸術文化祭が、十一月三日と四日に創遊館、西部公民館、秋葉山交遊館で華やかに開催されました。

日ごろから芸術文化に親しみ、活動されているみなさんの発表や作品が展示され、訪れた人たちに感動と文化の薫りを伝えていました。



「なんだて、立派だちゃ～」と鉢植えをながめるおばあちゃんたち



重森流砲術伝承会の演武。迫力ある銃声に緊張感がただよう



「じょうずに描けたね」とやさしくほほ笑むお母さん



▼照園会のみなさんによるお茶会。
玉露のおいしい香りが会場いっばいに広がる



はばたけ未来へ

ひろげよう

第37回朝日町



愛らしい踊り子さんの登場に、客席からひととき大きな拍手



メイクや着付けに大忙しの舞台裏



衣装もバッチリ決まり軽快に演奏、西小さくらバンド



会場を魅了したあめっかぜの美しいハーモニー



迫力ある演奏を披露する朝日中吹奏楽部のみなさん

まちの話題

① いもがわ温泉紅葉まつり



「いい湯だね」と最高の笑顔



歌謡ショーを楽しむお年寄りたち

紅葉の秋を満喫

10月20日、いもがわ温泉紅葉まつりが行われました。

この日は、高齢者生産活動センターの会員たちが栽培したキノコや山菜の

加工品、木工品、民芸品などが原価から2割引の値段で特売されました。

また、温泉の入浴料が無料でサービスされ、訪れた人たちは「お湯がなめらかで気持ちいい。湯加減もいい具合だ」と語り、赤や黄色に色づいた山々

をながめながら、ゆっくり湯船につかっていました。

午後からは、農民歌手鈴木久司さん（寒河江市）による歌謡ショーがにぎやかに行われ、約250人が歌や踊りを楽しみました。

③ 下芦沢区送橋川清流化事業



送橋川に黒カジカとハヤを放流

清流送橋川をふたたび

10月14日、志藤六郎村おこし基金の補助を受け、下芦沢区民による送橋川への魚の放流事業が行われました。

同区は、送橋川を地域の宝物として、以前からごみ拾いなどの川きれい運動を展開。昨年は河川の清流化を掲げた

看板を設置し、今年は黒カジカとハヤ約100キロを放流しました。

佐竹清道区長は、「以前この川には、黒カジカなどの魚がたくさん泳いでいました。合併処理浄化槽を設置するなど清流化運動を積極的に推進し、子どもたちにも清流送橋川をぜひ見せてあげたい」と語っていました。

② 西村山地区駅伝競走大会

朝日町 惜しくも2位

西村山地区駅伝競走大会が10月28日に行われました。各市町の代表8チームが創遊館前を一齐にスタートし、1市4町をめぐる7区間、60.5kmのコースで健脚を競い合いました。

朝日Aチームは序盤首位を独走したものの、後半河北町の猛烈な追い上げに敗れ惜しくも準優勝。Bチームは5位に入りました。

■区間賞 1区/桜井豊(大谷五)、2区/海野裕明(長沼)、5区/安藤茂昭(松原)、7区/海野宏行(送橋)



朝日Bチームのタスキリレー
(秋葉山交遊館前)

4 りんご囃子発表会



唄と踊りでりんごのまちをPR

月 さあさおいでよ朝日の町へ
赤い実かおる秋の各地に
今日も聞こえるあの唄が
明るい里にこだまする
りんごばやして りんごばやして
ソレ トント シャン シャン

朝日町の四季をうたった「りんご囃子」がこのたび完成し、10月28日に創遊館で発表会が行われました。

このお囃子は、民舞鶴見会（鶴見博俊会長）が町と町の特産であるりんごを広くPRしようと製作したもの。会員自らが歌詞を考え、鈴木久夫さん（沼向）に補作を依頼。作曲と唄は県民謡振興会常任理事の今泉侃彦さん

（長井市）にお願いしました。今年3月に曲、7月に振り付けが完成し、この日の発表会に向けて週1回の練習を重ねてきました。

振り付けを担当した鶴見ふじ子さん（栗木沢）は「思わず口ずさんでしまうテンポのいい唄で、踊りも明るく元気なものです。町民のみなさんにも、地区の夏まつりなどでぜひ踊っていただきたいですね」と話しています。

りんご囃子のテープは1巻1,000円で販売しています。ご希望の方は同会鶴見ふじ子さん（☎68-2551）へ申し込みください。

6 朝日中学校文化祭

感動の歌声が会場いっぱい

「Infinity（無限の可能性）」をテーマに、朝日中学校文化祭が10月27日に開催されました。

午前中は体育館で学習活動の発表、午後からは創遊館に場所を移して合唱コンクールが行われました。合唱コンクールは、4月から練習を重ねてきたとあって、どのクラスもレベルの高い美しいハーモニーを披露。結果は1年2組、2年1組、3年3組が優勝しました。一つの目標に向かってがんばることのすばらしさを教えてくれた合唱コンクール。生徒たちの目には感動の涙が光っていました。



5 水本小学校創立120周年記念式典

祝 創立120周年記念式典



私たちの学校が120歳に

水本小学校（三浦喜一校長、児童数8人）の創立120周年記念式典が、10月20日に同校体育館で開かれました。

この日は、学区民など約50人が出席。式では三浦校長が学校の歩みにふれ「多くのみなさんの力によって水本小が築かれてきました。感謝することを忘れずに、この学校で学ぶことに誇りをもって生活してください」と子どもたちに語りかけました。また、6年生の松

尾圭祐くんは「学校が来年閉校になると聞いて、とてもさみしいけれど、水本小で学んだことをこれからの生活に生かしていきたい」と児童代表の言葉を述べました。最後に出席者全員で校歌を斉唱し、創立120周年を盛大に祝いました。

同校は明治14年に開校し、これまで約1,000人の卒業生を輩出してきました。しかし、児童数の減少により今年度限りでの閉校が決定となり、来年4月からは、宮宿小学校と山辺町の作谷沢小学校にそれぞれ統合される予定になっています。

みんなのひろば



大隅

鈴木

光貴さん
里美さん

新婚さん

町内の会社に同期入社し、付き合いが始まった二人。付き合ってみると、考え方や好きなものも似ている「似た者同士」だとわかって、ますますラブラブに♡そして、今年8月めでたく結婚されました。

最近は別居を選ぶカップルも多い中、「いずれはいっしょに暮らすのだし、これから生まれてくる子どものためにもおじいちゃんとおばあちゃんがそばにいてくれた方がいいと思って」と、同居を決めた二人。「家事もお母さんと分担し合っています。後片付けなどは、光貴くんが毎日手伝ってくれるんですよ」と、うれしそうに語る里美さんでした。

最後に、朝日町について聞いてみると、「若い人たちがもっと増えて、活気のある町になったらいいな」と、二人から同じ答えが返ってきました。

明日も同じ弁当を持って仲良く通勤するというお二人。いつまでもお幸せに!

すてきな仲間たち

(75)

「大谷長寿クラブダンス愛好会」

心もかる～く
アン・ドウ・トロワ



「姿勢を正して踏むステップは、ボケ防止にとってよい運動です。また、異性とふれあうので身だしなみに気を使うようになり、気持ちも若くなりますね」。

平成6年に発足したダンス愛好会。河北町の松木先生指導のもと月3回の練習会を行っています。年に2度河北町の愛好会と交流を持ち、また、ふれあい荘への慰問や町の高齢者福祉大会へも参加しています。

現在18人いる会員のうち男性はわずか5人で、多くのペアを作れないのが大きな悩みです。

「なにぶんにも年なので、覚えてもすぐ忘れるんですよ」とは謙そんの弁。最高年齢83歳、平均年齢77歳のすてきな仲間たちは、足取りも心も軽やかにダンスを楽しんでいます。

(代表/白田辰雄 ☎68-2092)

「テロリズムと世界宗教戦争」
宮崎正弘 著
世界に衝撃を与えた米国同時多発テロは、文明的には宗教戦争の色合いが濃い「世界大戦争」の始まりにすぎない…。未曾有の危機にさらされた世界を、宗教の持つ歴史の根源と過激派の思想的背景を交えて立体的に考察する。

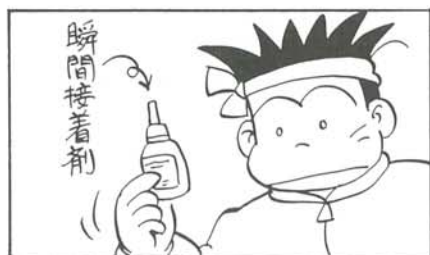
「セカンド・ライン」
重松 清 著
「ピタミンF」で直木賞を受賞した著者の初エッセー集。少年犯罪に関するジャーナリスティックなことから情感豊かにつづられる自分史までエッセー百連発。これ一冊で重松清がわかる本。

「吉田松陰 上・下」
童門冬二 著
松陰は松本村の一角から卓抜な立志を行い、その実践によって松本村を革新し、長州藩、日本を革新して「国際社会に役立つ人材」を育成しようとした…。改革者の資質を明らかにする小説。

「満水子 上・下」
高樹のぶ子 著
大人の恋の瞬間の光芒と深い陰影。水を描く画家満水子の謎を追いかける男。初夏、銀座の画廊で出会い、越後湯沢、京都、郡上八幡とさまよいながら恋を深めてゆく長編恋愛小説。



今月のおすすめ
町立図書館新刊案内



ひとことトーク

駅伝で
地域を盛り上げよう!

第18回アップル町民駅伝競走大会
優勝 上郷チーム監督



柴田 実さん
(宇津野)

駅伝で優勝するには、選手個人の力のほかに、地域の方々の理解と協力が必要です。今回の優勝も裏方として活躍していただいた方々の力なしには達成できなかったと思います。やはり「人の力」は大きいですね。駅伝は地域が一つになって盛り上がることでできる行事です。この情熱を持続させ、新たな行事等へとつなげていくならば、地域はますます活性化されると思います。

ここ数年、メンバーの編成が思うようにいかず参加チーム数が減少していますが、勝負にこだわれば、やはり「走れる人」「速い人」を選定しなければなりません。ただ、一つの行事として考えれば、上山市の「かかし駅伝」のような、だれでも参加できる大会も一つの方法であり、おもしろいのではないのでしょうか。

健康と福祉 (16)

あれこれ

児童虐待防止



Q・近所に子どもを激しくたたいて叱る方がいて、虐待のようで気がかかっています。

A・昨年、児童虐待防止法ができ、児童虐待を見つけた人は関係機関に通告するよう義務づけられました。しかし、児童虐待かどうかの判断は、難しいですね。

児童虐待とは、大人が子どもの心や身体に有害な行為を加えることで、大きく四つに分けられます。

- ① 殴る、蹴る、故意にケガをさせるなど体に苦痛を与える身体的虐待
- ② 適切な衣食住の世話をしないなど、子どもを放ったらかしにする養育の拒否・放置
- ③ 脅しや無視などに心に傷を負わせる心理的虐待
- ④ 性的ないたずら、性関係を強要するなどの性的虐待

これらはどんな理由で行われても、子どもにとって苦痛で有害なら児童虐待です。当町でも「朝日町児童虐待防止連絡会」を設置して児童虐待の防止・早期発見に努めています。

ほとんどの児童虐待は隠されており、周囲の方が見つけた小さな出来事が早期発見・解決の糸口になることもあります。些細なことでも児童虐待が疑われる時は、以下の関係機関にご相談ください。情報源の秘密については必ず守られます。

朝日町役場健康福祉課福祉係
(067-2116)
山形県中央児童相談所
(023-622-2543)
各地区の民生委員・児童委員

町民の声

みなさんからののおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、みなさんの周りでの出来事や話題、
日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先/〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場企画課 企画広報係
(☎67-2112 FAX67-2117)
■Eメール/kikaku@town-asahi-yamagata.com

ヒメサユリと棚田の 里に案内板の設置を

能

中一本松公園の「ヒメサユリ」と日本の棚田百選に選ばれた「樺平（くぬぎだいら）の棚田」の案内について、県道わきに大きな看板がないので、ぜひ設置して下さるようお願いいたします。

また、以前に設置された区名の標識が不明な箇所が見られますので検討ください。

【海野勝美さん・能中】

答

おたよりありがとうございます。一本松公園の整備については、能中区民のみなさんに大変ご協力をいただき、感謝しております。ヒメサユリの自生地であり、眼下に見下ろす樺平の棚田と最上川、月山朝日の山々の眺望もすばらしく、訪れる観光客も大変多くなつてきています。

案内看板については、ほかにもご意見をいただいております。ぜひ設置したいと考えておりますが、財政的なことや山形県屋外広告物条例で場所や大きさに規制があるなど課題もありますので、関係機関と協議しながら早期に実現できるように努力してま

いります。

【商工観光課】

答

各地区に設置してある区名の案内看板については、一部見えにくいものや傾いているものもありますので、腐食等が激しいものから随時撤去していく予定です。

なお、案内標識の更新については、現在のところ計画はありませんが、町づくりの長期計画の中でサイン計画に基づいた整備を検討していきたいと考えています。

【企画課】

保育園の 入園について

町

には保育園しかありませんが、母親が専業主婦でも入園できるのでしょうか。

【匿名】

答

保育園は、日中保育できない保護者に代わって、



お子さんをお預かりするところです。したがって、家庭で保育が可能な方は原則的に入園できないことになっています。しかし、専業主婦であっても、例えば「家の畑仕事を手伝う」「身内に病人がいて看病しなければならぬ」などの理由により、定期的に子どもを保育できない場合には入園が可能です。

各家庭の事情や保育園の定員も関係しますので、くわしくは係へおたずねください。

【健康福祉課】

子育てについて一言

町

内の公園に行きますが、日中あまり遊んでいる人を見ませんが、みなさんどこで子どもを遊ばせているのでしょうか。

【匿名】

創

遊館の中に雨が降っていても安心して小さい子どもが遊べるような所（いつでもだいじょうぶという所）があればいいと思います。寒河江市のハートフルセンターのようなものがあると助かります。

私は子どもをハートフルセンターや山形市のことも館まで連れて行って遊ばせています。いつも「こういう施設が朝日町にもあるといいのに」と、つくづく思います。

【匿名】

券が
当たる
図書

広報
クイズ



【問題】

①右の写真。

「第三十七回朝日町○○○○祭」

②全国へ向けて初出荷された、りんご「○○○○」

③十月二十日に創立百二十周年記念式典が行われた「○○小」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、広報記事に対する感想やみなさんのおたよりをお待ちしています。

【十月号の答え】

①アップル ②ヒメサユリ

③ワイン

【応募者総数】 二十七人

【当選者】 渡辺俊子さん（送橋）、安藤重子さん（常盤）、長岡小夏さん（大谷五）

【匿名】



すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	性別	保護者名
太郎二	相座 一生 ^{いっせい}	男	裕 行
栗木沢	志藤ほのか	女	景 洋



おしあわせに

(婚姻届)

相座 正	川崎 淳子
(送 橋)	(宮城県)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
新宿	今井 忠一	優一
大谷二	渡 邊 國 男	國一
松 程	佐 竹 三保子	茂 美
西船渡	海 野 安 雄	郁 夫
常 盤	松 本 トモ	則 雄
雪 谷	鈴 木 忠 内	進
大谷四	飯 野 正 方	本 人
大谷四	宇 野 ちよ子	本 人

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成13年10月31日現在

人 口	9,364人(減 14人)
男	4,658人(減 5人)
女	4,706人(減 9人)
世帯数	2,581戸(増 1戸)

() 内前月比

くらしの知恵袋 39

ワインは老化防止に効果があり、健康を保つアルカリ性食品です。今回は昨年行われたワイン料理コンテストの応募の中から“朝日町ワイン”を使った簡単レシピを紹介しましょう。

地鶏レバーの ワイン煮

[材料：4人分]

地鶏レバー ……300g
ワイン……………適量
塩……………少々

[作り方]

- ①ナベにレバーを入れ、レバーがかぶるくらいにワインを注ぐ。
- ②中火で煮、途中で塩を入れ、ワインがなくなるまで煮つめる。
- ③冷めてからスライスし、レモンを添えて出来上がり。

ワンポイント!

ワインの味を生かすため、香辛料は使わない。
ワインは、白赤どちらを使ってもかまわない。

(新宿 小関典子さん)



落花生(ピーナッツ)の 赤ワイン煮

[材料：4人分]

生落花生 ……200g
砂糖……………150～200g
しょう油…½カップ
赤ワイン…1カップ
白ごま……………少々
みりん……………少々

[作り方]

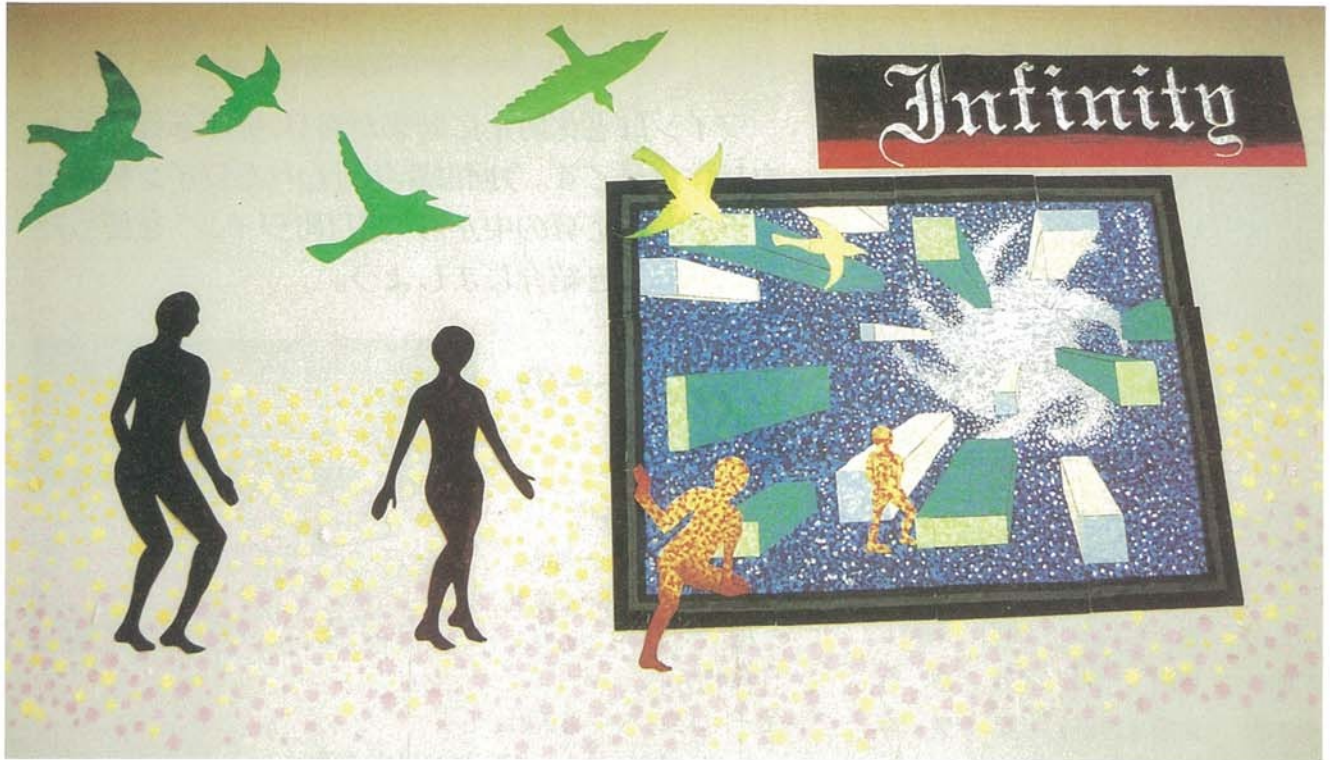
- ①落花生をやわらかくなるまで煮る。
- ②やわらかくなったら水を捨て、赤ワイン、しょう油、砂糖、みりんを入れ、煮汁がなくなるまで弱火で煮る。煮汁がなくなったら、焦げないようにかきまぜる。
- ③冷めてから白ごまをふりかけて出来上がり。

ワンポイント!

長く煮ると、ワインの香りがなくなるので、
香りを好む方は最後にもう一度ワインを振りかける。

(西船渡 鈴木裕美さん)





朝日中学校文化祭全校絵画 「Infinity (無限の可能性)」

朝日中学校文化祭で披露された全校絵画。全校生みんなで作った長さ10m、高さ5mの巨大な絵です。

この絵は、朝日中生一人ひとりの「無限の可能性」を表しています。絵の中に入って行く人物、それは生徒たち一人ひとりです。光(夢)に向かって、ひたむきに進む姿を描いています。鳥は、そんな生徒たちを陰で支えてくれる存在として表現されています。

「アイスワイン」の 愛称を募集

さらにみなさんに愛され親しまれる商品となるよう、アイスワインの愛称を募集します。ふるってご応募ください。

● 愛称 アイスワインの商品特徴と朝日町ワインおよび地域の特性をよく表現して呼びやすいもの。

● 申込 官製ハガキに、愛称・住所・氏名・電話番号を書いて〒九九〇一三〇四 朝日町大字大谷字高野一〇八〇番地 (朝日町ワイン「アイスワイン愛称募集」係へお送りください。作品は一枚のハガキで複数応募できません。

● 締切 十二月十日(月)必着
● 当選 入選一点、佳作二点。それぞれ賞金と賞品(ワイン)を差し上げます。

● 発表 一月上旬に発表
● 問合せ (朝日町ワイン) ☎68-2611



忙しく仕事に追われる日々。ストレスはたまる一方で、運動する時間も体力もない。さらに過食・偏食がプラスして肥満に。不健康の典型といえる生活を送っている私。「このままでいけない」とわかっていても乱れた生活パターンはなかなか変えられない。目の前のことで精一杯だし、まだまだ若いからと、ゆったり構えている面もある。

春 夏 秋 冬

編集後記

しかし、あるデータを見てドキツとさせられた。村山保健所から出された平成十一年三大死因率だ。残念なことに朝日町は管内で上位にランクされている。「自分の健康についてもっと真剣に考えないと」と思わせてくれた数字だった。

病気になるための健康づくり。忙しいと逃げないで、実践しよう、明日から…。(F)

